

付属資料 4 参考事例

4-1 整備計画案の参考とした事例

各事例の出典リスト

- ◎資料 A : 「コンパクトでにぎわいあふれるまちづくりをめざして」平成 23 年 1 月, 経済産業省
- ◎資料 B : 「稼げるまちづくり取組事例集」平成 29 年 3 月, 内閣府
- ◎資料 C : 「良好な道路景観と賑わい創出のための事例集」平成 26 年 3 月, 国土交通省
- ◎資料 D : 「観光地域づくり事例集 2015」平成 27 年 3 月, 観光庁
- ◎資料 E : 「交通アクセスに関する取組事例集」平成 26 年 3 月, 国土交通省
- ◎守山市 HP : <https://www.city.moriyama.lg.jp/chiikishinko/biwaichimap/biwaichimap.html>
- ◎しまなみ海道 HP : <http://www.go-shimanami.jp/cycling/>
- ◎中心市街地活性化協議会支援センターまちかつ HP :
<http://machi.smrj.go.jp/machi/closeup/town/160826toyota.html>
- ◎貿易研修センターHP : <https://www.iist.or.jp/jp-m/2017/0269-0270-1051/>
- ◎ひたちサンドアートフェスティバル HP : <http://hitachi-sandart.jp/>
- ◎事業構想大学院大学 HP : <https://www.projectdesign.jp/201612/hotsprings/003300.php>
- ◎みやのかわ商店街振興組合 HP : <http://www.miyanokawa.com/>

表 整備計画案の参考事例の機能別分類一覧

参考事例	観光交通		③公共交通の利便性向上（歩行空間）	④クルーズ客受入（移動手段）	街の活性化と観光施設			⑨地元魚と漁港活用（水産施設）	効果指標
	①交通拠点の整備	②交差点や屈曲部の改良			⑤海辺の通年利用	⑥集客施設	⑦回遊促進		
宮崎県日向市 日向市駅前広場	○				○			<ul style="list-style-type: none"> ・市民企画のイベント数 ・集客数 ・歩行者通行量 	
北海道札幌市 札幌市創成川通		○						<ul style="list-style-type: none"> ・通過時間 ・旅行速度 	
愛媛県松山市 一番町大街道口		○						<ul style="list-style-type: none"> ・イベント来場者数 ・日中通行量 	
島根県津和野町 本町・祇園町通り			○				○	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量 ・観光客入り込み客数（10～12月） ・歩行者交通量 	
愛媛県松山市 ロープウェイ通り			○					<ul style="list-style-type: none"> ・休日の歩行者自転車交通量 ・営業店舗数 	
奈良県橿原市 明日香村 高取町 超小型モビリティ 明日香村 レンタルサービス				○		○		<ul style="list-style-type: none"> ・利用台数 ・収納額 	
富山県黒部市 宇奈月温泉電気バス				○		○		<ul style="list-style-type: none"> ・電気バス乗車数 	
広島県尾道市 しまなみ海道 愛媛県今治市 上島町				○		○		<ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクル利用実績 	
山形県鶴岡市 あつみ温泉			○	○	○			<ul style="list-style-type: none"> ・満足度率 ・観光客数 	
茨城県日立市 ひたちサンドアート フェスティバル				○				<ul style="list-style-type: none"> ・来場者数 	
高知県高知市 ひろめ市場					○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・集客数 ・店舗数 	
長野県飯田市 りんご並木					○			<ul style="list-style-type: none"> ・平日自転車歩行者通行量 ・新規出店数 	
北海道富良野市 フラノマルシェ					○			<ul style="list-style-type: none"> ・観光入込客数 	
鳥取県米子市 法勝寺町商店街					○			<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗率 	
滋賀県守山市 琵琶湖一周「ビワイチ」				○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設の来客数 	
新潟県十日町市 津南町 美術館「キナーレ」						○		<ul style="list-style-type: none"> ・芸術祭動員数 ・芸術祭による経済波及効果 	
愛知県豊田市 あそべるとよた プロジェクト					○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・通行量増加率 ・駅ビル入店者数増加率 	
大分県別府市 温泉とアートを 核としたまちづくり						○		<ul style="list-style-type: none"> ・イベント来場者の2泊以上の滞在率 ・アート関係の移住者数 	
兵庫県豊岡市 城崎温泉							○	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人延べ宿泊者数 	
群馬県吾妻郡草津町 草津温泉					○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客数 ・宿泊客数 	
埼玉県秩父市 みやのかわ商店街 ナイトバザール							○		
大阪府大阪市 OSAKA 光のルネサンス							○	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者数 ・経済波及効果 	
青森県青森市 古川市場「のっけ井」					○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・井の売り上げ数 	
滋賀県大津市 琵琶湖湖畔 「なぎさのテラス」					○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・来客数 ・琵琶湖観光客入込客数 	

4-1-1 交通拠点の整備

【宮崎県日向市】日向市駅前広場（資料 B、資料 C）

◆事業の内容

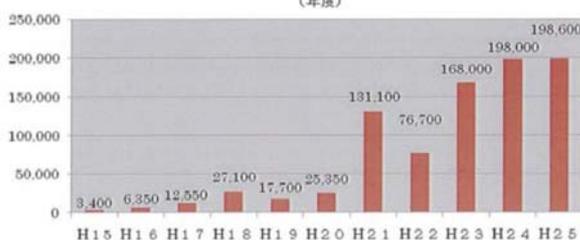
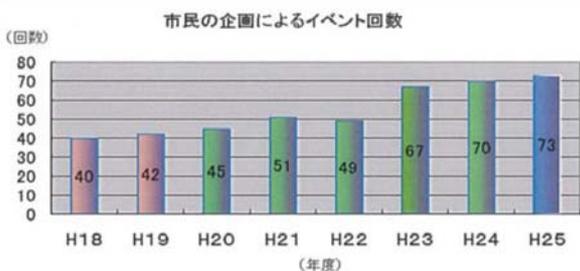
- 連続立体交差事業、土地区画整理事業、商業集積事業の一体的推進による駅周辺再整備
- 交通広場に隣接して市民が自由に憩えるオープンスペース「交流広場」を整備

◆実践のポイント

- 市民が「主役」となる検討体制の構築
 - ・検討段階から市民を巻き込みユーザー満足度の高い公共施設を整備
- トータルコーディネートされたデザインの実践
 - ・優れた専門家の参加と、景観デザインに関する検討機関の設置によるコラボレーション体制の構築により、デザインのトータルコーディネートを実践。

◆事業の成果

- 事業の実施により歩行者・自転車交通量が、整備前に比べ約 45%増加
- 市民企画のイベント数が約 1.8 倍、集客数も約 7.3 倍となった
- 県北の商店街地価の最高値は、近年、日向市が延岡市を逆転



ベンチ



案内サイン



交流広場

4-1-2 交差点や屈曲部の改良

【北海道札幌市】札幌市創成川通（資料 C）

◆事業の内容

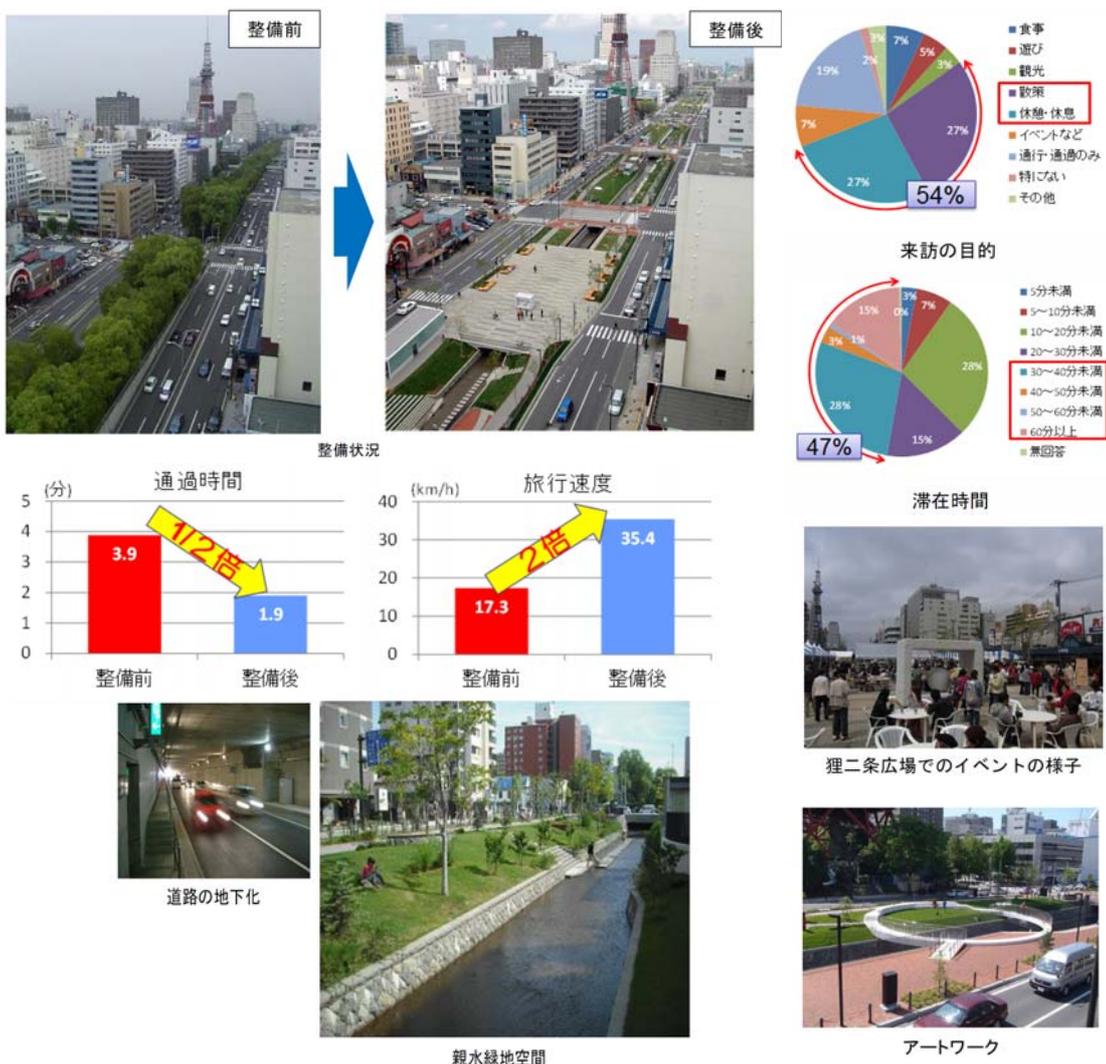
- 札幌都心部の交通混雑の緩和や都心空間の有効利用を図る、アンダーパスの連続化
- 地上部の緑地整備、護岸整備、歩道拡幅、無電柱化等

◆実践のポイント

- 整備地区周辺に限らない全市的な対話活動
 - ・市民が議論できる「場」を提供し、地域団体との意見調整を図った。
 - ・沿道地域のみならず、市内全域の住民を交えた意見交換を実施。
- 計画から施工まで一貫したデザイン監理を実施
 - ・計画から設計段階、施工段階におけるデザイン監理までを一貫して行える体制を構築し、デザインの一貫性を担保。

◆事業の成果

- 道路の地下化（トンネル化）によるアンダーパスの連続化により、通過交通の速達性の向上、自動車交通事故の減少。
- 地上部の空間整備に伴う地域分断の解消により、地域間の歩行者交通量が約 17%増加。



【愛媛県松山市】産学官連携により地域内資金循環を目指したエリアマネジメントによる空間デザイン（資料 B）

◆事業内容

- ・(株) まちづくり松山が、行政から自立した運営により、収益事業で得た資金をまちなかの賑わいづくりや人材育成のために再分配、再投資して「民間主導のエリアマネジメント・まちづくり」を実行。
- ・民間（商工会議所・伊予鉄道（株）・(株) まちづくり松山）、大学（愛媛大学・松山大学・東京大学ほか）と市が連携して、松山アーバンデザインセンター（UDCM）を運営し、集客の核となるエリアの空間デザインを提案。

◆実践のポイント

○（株）まちづくり松山の自立した運営

- ・(株) まちづくり松山が、エリアマネジメントの事業継続を第一優先に運営を行い、駐車券発行や映像広告事業により得た収益を街の流動性向上のために再投資し、賑わいづくりや若者の地元への愛着醸成に貢献している。

○松山アーバンデザインセンター（UDCM）の取組

- ・産学官連携により設立された UDCM は、市内中心部に拠点を構えて、将来ビジョンの検討や、大街道商店街など中心部の空間デザインの考案、専門家の指導のもと学生を中心に担い手育成を実施。

○産学官の連携による景観整備

- ・中心部の商業施設跡地の再開発に合わせて、アーケードと路面の一体的な景観整備を実施

◆事業の成果

○イベント開催（スプリングフェスタ 2015）の効果

来街者数 77,950 人/4h （平常時の約 2 倍）

※小学生以下のみ 18,037 人/4h （平常時の約 6.5 倍）

○景観整備の効果（日中の通行量）>

整備前：13,736 人/10h

整備後：26,189 人/10h



4-1-3 ユニバーサル性（歩行空間）

【島根県津和野町】津和野本町・祇園丁通り（資料 C）

◆事業の内容

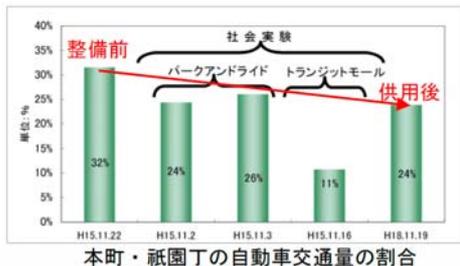
- 江戸時代のままの幅員に電柱が立ち並び、車が主役となっていた道路を歩行者のためのみちとして再生
- 無電柱化と共に、道路照明柱の修景、舗装の美装化で沿道と調和した街路空間を創出

◆実践のポイント

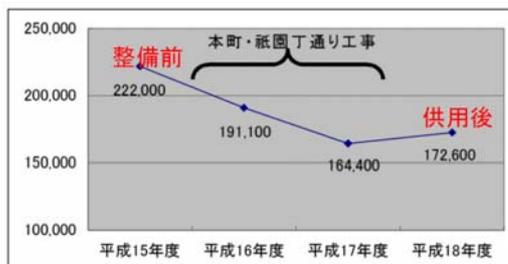
- 地元を巻き込んだ徹底的な話し合い
 - ・地元を束ねる整備連絡会を組織し、事業実施の可否も含めた地元との協議を重ね、事業実施に対する理解と信頼感が得られた。
- 住民意見が咀嚼されたデザインの提案
 - ・景観の専門家不在の話し合いの中で、まとまった最終案に対する決定的な安心感がなかったところ、学識経験者のアドバイスから始まったデザイナーの提案内容が、地元の圧倒的な支持を得て、地域の景観を引き立たせるデザインを実現。

◆事業の成果

- 歩車共存に配慮した道路の再整備の結果、沿道別地区の歩行者交通量が、整備前に比べ16%減少しているのに対して、本地区は18%増加
- これまで歩行者は路肩を歩いていたが、整備によって道路中央部を歩くようになり、車両も歩行者に配慮してスピードを抑制



灯籠による家並みのライトアップ



10月～12月の観光客入り込み客数の推移



津和野中心部における歩行者交通量

【愛媛県松山市】松山市ロープウェイ通り（資料C）

◆事業の内容

- 車道を2車線から1車線化し、歩道幅員を拡大する道路空間の再配分を実施
- 無電柱化と共に、沿道の店舗看板の統一化や道路附属物の修景、舗装の美化等を実施

◆実践のポイント

- 地元と行政（市）の熱意ある協議
 - ・商店街の沈滞をきっかけとした、地元と行政（市）の長年にわたる協議（約6年間）により、地元関係者の事業に対する責任感が生まれた。
- 専門家に対する信頼感を背景にした道路デザイン
 - ・地元の想いを汲み上げ、形にすることが出来る専門家を活用することで、地元関係者との信頼感の醸成につなげ、地域の特性に応じた個性的なデザインを実現。

◆事業の成果

- 歩行者に配慮した道路の再整備の結果、整備前に比べ歩行者交通量が約3.5倍に増加
- 事業供用後、全国でもトップクラスの地価上昇率（12.6%）を示した（全国平均2.3%、地方都市平均-2.8%）



4-1-4 クルーズ客受入（移動手段）

【奈良県橿原市、高取町、明日香村】超小型モビリティのレンタルサービス（資料 D）

◆事業の内容

広域に点在する村内の歴史遺産、文化遺産を結ぶ道路は道幅は狭く、バス等の公共交通も全てを網羅していない。中山間地という特性上、徒歩や自転車では到達しきれないポイントが存在するため、超小型モビリティを導入。

◆実践のポイント

- ・電気自動車のレンタル事業を通じて、奈良県の中南和地域における広域的観光に取り組む
- ・中山間地、道路幅の狭いところへの新たな交通手段の確保
- ・環境への取組

◆事業の成果

○広域観光の促進

- ・明日香村内の限られたポイントの観光から、奥飛鳥、明日香村周辺へ移動される利用者が多く、広域的観光がなされている。

○滞在時間の延長による経済効果

- ・利用時間も終日観光に費やされる方が多く、滞在時間の延長により経済効果もあると思われる。

○雇用促進

- ・受付業務等は村内から雇用しており、雇用促進にも貢献している。



農道を走るMICHIMO



MICHIMOと福満ジャンボ案山子

MICHIMO レンタル実績（平成26年度）

利用料金：

3時間 3,000円

5時間 4,750円

1日 8,000円

（全て税別）

参考：MICHIMO ホームページ <https://michimo.jp/>

利用台数	309台
収納額	1,611千円

※平成26年10月～平成27年3月までの6ヶ月の累計実績

【富山県黒部市】宇奈月温泉街における小水力発電と電気バスを活用したエコ温泉リゾートづくり（資料 B、宇奈月温泉における低速電気バスの運行による地域交通づくり）

◆事業の内容

- ・排ガスによる環境悪化と観光客減少を背景に、民間主導で「でんき宇奈月プロジェクト」を設立し、市の協力も得ながら、地域一体となった新たなまちづくりを推進。
- ・豊富な水資源を活用した小水力発電所の整備、発電した電力を活用した小型低速電気バスの運行等により、先進的なエコ温泉リゾートとして観光客誘致を図るとともに、地域を担う人材育成に取り組んでいる。

◆実践のポイント

○宇奈月谷小水力発電所の整備・運営と電気バス「EMU（エミュー）」の導入

- ・排ガスによる環境悪化と観光客が減少しつつある宇奈月温泉街において、電気自動車100%の街として有名なスイスのツェルマットをモデルに、小型の電気バス「EMU」を導入（H24年）。安心快適なエコ温泉リゾートとして、観光客の滞在時間延長、温泉街の活性化を図る。
- ・大高建設（株）等の民間主導で設立された「（一社）でんき宇奈月プロジェクト」が主体となり、黒部川支流から取水し発電する小水力発電所を整備（H26年）。電気バスは小水力発電による電力で充電するなど、エネルギーの地産地消モデルの構築を推進。

○温泉・観光拠点施設の整備

- ・市においても、宇奈月ダムのほとりに露天風呂・研修室等を備えた観光・交流施設「とちの湯」を整備（H14年）。EMUの周遊ルートに加え、EMUと一体となった観光客誘客を推進。
- ・温泉街の中心にも、共同浴場、観光案内所を併設する「湯めどころ宇奈月」を整備（H28年）。住民交流や観光拠点として活用。

◆事業の成果

- ・電気バス「EMU」も1台から3台に増え乗車人数も増加
- ・視察団体の来訪者数等も増加



湯めどころ宇奈月



【広島県尾道市、愛媛県今治市・上島町】瀬戸内しまなみ海道（資料 D、資料 E しまなみ海道 HP）

◆事業内容

○「しまなみ海道」の沿線自治体が提携し、レンタサイクルの広域利用を実施

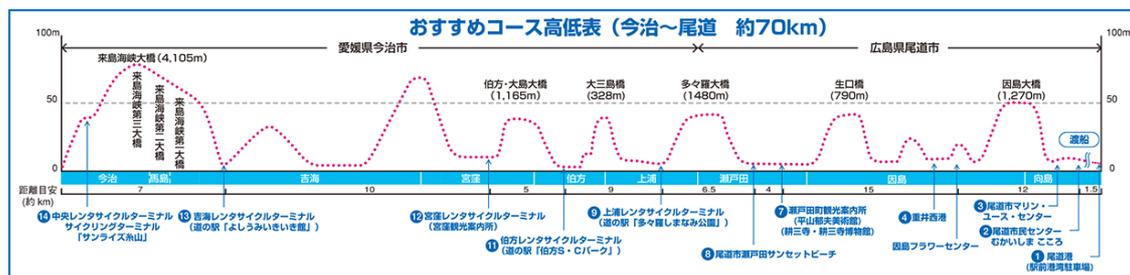
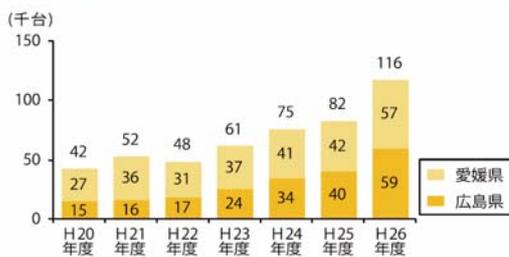
◆実践のポイント

- ・沿線自治体がレンタサイクルの広域利用について提携。料金やターミナル間の乗り捨て等運用を統一。
- ・各地区にある 15 ヶ所（うち 4 か所が「道の駅」）のレンタサイクルターミナルであれば乗り捨て自由（電動アシスト自転車及びタンデム自を除く）。
- ・貸出料金大人 500 円、保証料 1,000 円（乗り捨てせず、貸出ターミナルもしくは、同じ島内のターミナルに返却した場合に保証料は返却）
- ・15 ヶ所のレンタサイクルターミナルには駐車場（ほとんどが無料）が整備。
- ・しまなみ海道サイクリングチケット 500 円（50 円券×10 枚綴り）を販売しており、各橋の自転車歩行者道区間での支払いに利用可能。

◆事業の成果

- ・レンタサイクル利用実績増加

しまなみ海道レンタサイクル利用実績



4-1-5 海辺の通年利用

【山形県鶴岡市】あつみ温泉のまちづくり（資料C 温海地域振興計画）

◆事業の内容

- 足湯の設置など歩いて楽しい温泉街として、歩行者主体の道路空間の再配分を実施
- 無電柱化と共に、道路附属物の修景、舗装の美装化等を実施

◆実践のポイント

- 学識者の理念への共感を出発とした取り組み
 - ・学識者からの継続的なアドバイスに基づき、観光関係者・地域住民・行政が一丸となって、H12～H21の9年に渡ったまちづくり・まちづくりを実践。

○事業の積み重ねによるスパイラル効果

- ・一貫した理念のもと、複数の事業に取り組んだ結果、それぞれに相乗効果を発揮。
- もてなしのデザインの実践により、温泉街を歩く観光客の姿が目立つ様になり、来訪者に対するあいさつの装置(花や看板)を置くなど、通り全体の雰囲気大きく改善

◆事業の成果

- ・道路整備を機に地元の自主的なイベントが増加
- ・観光客の増加



中央分離帯に設置された足湯「あんべ湯」



かじが通りに面したカフェ

●お客の増減 (かじが通り整備前との比較) ※店舗へのアンケート	② 地元以外のお客の増減(かじが通り整備前との比較)					
	男性	女性	不明	計	構成比	
大いに増えた	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%
少し増えた	7	35.0%	4	22.2%	11	28.2%
あまり変わらない	1	5.0%	8	44.4%	9	23.0%
少し減った	1	5.0%	4	22.2%	5	12.8%
大いに減った	1	5.0%	2	11.1%	3	7.7%
その他	1	5.0%	0	0.0%	1	2.6%
未記載	6	30.0%	0	0.0%	6	15.5%
計	20		18		1	39

●お客の満足度 (宿泊客)	③ 温泉街の印象						
	男性	女性	不明	計	構成比		
非常に満足	26	17.7%	24	16.3%	0	50	18.0%
おおむね満足	85	57.8%	72	50.0%	0	157	56.5%
あまり満足していない	8	5.4%	13	9.9%	0	21	7.9%
不満	1	0.7%	2	1.5%	0	3	1.1%
わからない	21	14.3%	16	12.2%	0	37	13.3%
未記載	6	4.1%	4	2.1%	0	10	3.6%
計	147		131		0	278	

(来訪者)	③ 温泉街の印象						
	男性	女性	不明	計	構成比		
非常に満足	2	10.0%	18	39.1%	0	20	30.3%
おおむね満足	13	65.0%	22	47.8%	0	35	53.0%
あまり満足していない	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0.0%
不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0.0%
わからない	4	20.0%	6	13.0%	0	10	15.2%
未記載	1	5.0%	0	0.0%	0	1	1.5%
計	20		46		0	66	



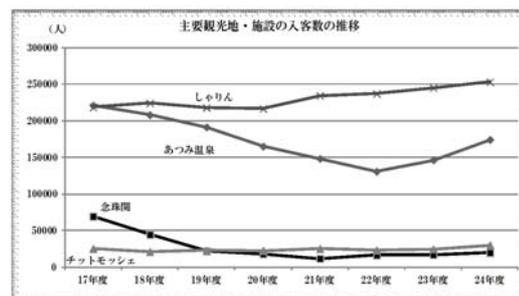
足湯「もっけ湯」



川辺テラス

観光地名	(単位:人)								
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
あつみ温泉	県内客	80,000	75,000	68,900	59,400	53,400	47,100	52,700	62,700
	県外客	141,000	133,000	122,400	105,600	94,900	83,700	93,600	111,600
	計	221,000	208,000	191,300	165,000	148,300	130,800	146,300	174,300
金珠園	県内客	3,000	2,800	2,700	2,200	1,800	2,200	1,900	2,700
	県外客	5,500	4,900	5,200	4,100	3,900	4,300	4,300	5,200
	計	8,500	7,700	7,900	6,300	5,700	6,500	6,200	7,900
摩耶山	県内客	1,900	2,100	2,500	1,200	1,300	900	1,100	1,100
	県外客	800	1,000	900	600	700	400	700	600
	計	2,700	3,100	3,400	1,800	2,000	1,300	1,800	1,700
民 着	県内客	3,900	3,800	5,500	5,700	3,700	4,800	5,500	5,000
	県外客	2,100	2,800	2,200	2,400	2,700	2,400	2,500	2,400
	計	6,000	6,600	7,700	8,100	6,400	7,200	8,000	7,400
海水浴場(風ヶ岡)	県内客	22,100	13,300	5,000	4,000	2,100	3,400	3,800	4,000
	県外客	38,800	23,300	8,900	7,400	4,000	6,400	7,000	7,500
	計	60,900	36,600	13,900	11,400	6,100	9,800	10,800	11,500
チットモッシェ	県内客	8,900	7,700	8,300	8,200	9,200	8,500	8,900	11,000
	県外客	16,600	13,400	14,500	14,400	16,000	14,700	15,600	19,100
	計	25,500	21,100	22,800	22,600	25,200	23,200	24,500	30,100
海のつり船センター	県内客	15,900	24,800	12,600	12,400	15,000	7,800	5,300	1,800
	県外客	29,400	46,100	23,600	23,100	27,400	14,400	9,600	2,900
	計	45,300	70,900	36,200	35,500	42,400	22,200	14,900	4,700
道の駅あつみ「しかりん」	県内客	76,500	78,400	76,300	75,800	82,000	82,900	85,800	88,500
	県外客	142,100	145,600	141,700	140,700	152,200	154,100	159,200	164,500
	計	218,600	224,000	218,000	216,500	234,200	237,000	245,000	253,000
あつみ温泉一本木スキー場	県内客	1,700	1,800	5,400	5,300	6,200	5,600	6,600	6,300
	県外客	2,900	3,200	200	100	200	100	100	200
	計	4,600	5,000	5,600	5,400	6,400	5,700	6,700	6,500
金珠の松庭園	県内客	1,500	1,100	1,200	900	900	1,000	800	1,300
	県外客	2,800	2,800	2,800	2,300	2,000	2,200	2,100	2,800
	計	4,300	3,900	4,000	3,200	2,900	3,200	2,900	4,100
しな蔵センター・しな蔵の里あくむり館	県内客	2,900	2,800	2,100	2,400	2,200	2,200	1,400	1,500
	県外客	5,300	5,500	4,600	5,000	4,700	4,500	3,200	3,100
	計	8,200	8,300	6,700	7,400	6,900	6,700	4,600	4,600
合 計	県内客	218,300	213,600	190,500	177,500	177,800	166,400	173,800	185,700
	県外客	387,300	381,600	327,000	305,700	308,700	287,200	297,900	319,900
	計	605,600	595,200	517,500	483,200	486,500	453,600	471,700	505,600

※百人未満四捨五入



【茨城県日立市】ひたちサンドアートフェスティバル（ひたちサンドアートフェスティバル HP）

◆事業の内容

- ・日立市の資源を有効活用し、地域の活性化を目指して開催

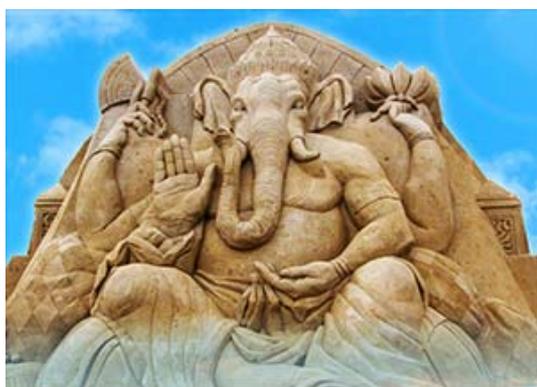
◆実践のポイント

- ・2010年より河原子の港や海岸で開催されており、サンドアートはイベントの核となる。
- ・劇場型花火や屋台村、体験アトラクションなど多彩なイベントも同日開催。

◆事業の成果

- ・来場者は年々増加している。平成25年は4万人来場。茨城県 HP より。

<http://www.pref.ibaraki.jp/bugai/koho/hodo/oshiete/2014/20140714.html>



4-1-6 集客施設

【高知県高知市】地産地消の交流拠点「ひろめ市場」の低コストでの整備・運営による賑わいづくり（資料 B）

◆事業の内容

- ・まちなかの商店街活性化を目指し、商店街と地元建設会社の協働により、地産地消の屋内型屋台村「ひろめ市場」を企画から 10 か月で開設。円滑な整備のみならず、テナント賃料の抑制や食器の一括管理等の工夫により、出店コストのハードルも低く抑えられ、出店チャレンジしやすい場としての役割を果たしている。

◆実践のポイント

○まちなかのグルメスポット「ひろめ市場」の整備

- ・来客数の減少に危機感を持った中心市街地の商店街組合員有志により、商店街の西端部にある駐車場を改修し、1 階を屋内型屋台村、2 階を立体駐車場とする計画を平成 10 年 1 月に提案。
- ・駐車場を管理する地元建設会社が賛同し、「ひろめ市場」を同年 10 月に開設。
- ・高知の衣食住文化、人情・人となり、基礎知識・芸術・文化を「ひろめる」をコンセプトにしており、入居する飲食店等は高知の料理、食品、特産品等に限定。飲食店を中心に約 70 店が出店する屋台村となっており、出店者の選考の際は、既存の出店者と競合せず、主に高知県産の物を扱う事業者を考慮。
- ・市場開設の際（H10）に、有志の代表と建設会社により「(有)ひろめカンパニー」を設立し、運営管理を行っている。

◆事業の成果

- ・市民と観光客併せて年間約 280 万人を集客し、周囲の商店街への波及効果を創出。



【群馬県吾妻郡草津町】草津温泉（事業構想大学院大学 HP）

◆事業の内容

- ・湯畑近くの駐車場を移転し湯畑前を再開発
- ・明治時代まで実在した共同浴場「御座之湯」を再構築した木造2階建ての大型日帰り温泉「御座之湯」を2013年オープン
- ・昭和レトロの雰囲気醸し出すイベントスペース「湯治広場」を2014年オープン
- ・大正ロマンのデザインを施した湯もみショー施設「熱乃湯」を2015年リニューアルオープン

◆実践のポイント

- ・時代を統一せず、歴史と物語性を再現。
- ・湯畑と日本有数の大露天風呂がある西の河原公園を、大人向けの落ち着いたライティングで演出

◆事業の成果

- ・観光客数は2015年度には公約通り300万人を達成し、2016年度にはさらに1割増を見込む。
- ・2015年度は観光客300万人のうち、187、8万人が宿泊だが、2016年度は宿泊客が220、30万人に増えている。



【長野県飯田市】まちづくり会社が主体となった複合的なエリアマネジメントによる賑わいづくり（資料A&資料B）

◆事業の内容

- ・商店、市民、市が連携したまちづくり会社が主体となって、市民ニーズに即し、再開発、空き店舗を活用したテナントミックス、集客イベント等の複合的なエリアマネジメントを実践。長年にわたる活動ノウハウを蓄積し、新規事業を展開。
- ・再開発事業を拠点に、商業、業務、住宅、文化交流等の都市機能の集約化を図り、連続的な投資を呼び込むとともに、若者によるNPO、ボランティアグループの活動も起こり、まちに新たな賑わいを創出。

◆実践のポイント

○まちづくり会社が主体で行う再開発

- ・市民出資を基に設立された飯田まちづくりカンパニーにより、民間デベロッパーを介さず、自ら事業リスクを負って再開発ビルの保留床を取得し、テナント誘致やマンション分譲等を実施。（H10～）

<メリット>

- ・再開発のノウハウが地元蓄積される
- ・地元事業者（資本）の出店を促す
- ・市民が描くランドデザインに沿った開発を実施
- ・結果として、連続的な投資を呼び込み飯田市らしいまちづくりの推進につながっている。

○りんご並木ストリートマネジメント

- ・中心市街地のりんご並木全体のランドデザインや商業集積を進めるため、若手経営者とまちづくり会社等で「りんご並木ストリートマネジメント研究会」を発足。（H10）
- ・まちづくり会社が、りんご並木周辺の空き店舗を取得または借り上げて、まちなかに不足する機能やニーズが大きい業種等を優先的に導入するなど、ミニ再開発を実施。
- ・空き店舗をまとめて再生した「りんご並木横丁いこいこ」（H26）には、NPO法人やまちづくり会社等が連携して開催する「まちなか空店舗再生創業塾」の受講生が出店。
- ・りんご並木に関わる団体等が結集し、しなやかに連携し協力しあう「りんご並木まちづくりネットワーク」を設立。月に1回歩行者天国を開催。

◆事業の成果

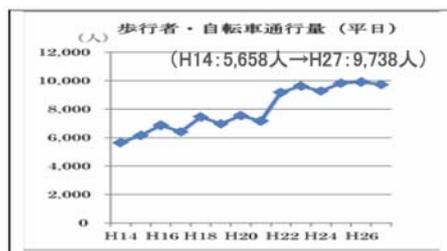
- ・新規出店数および通行量の増加

並木横丁いこいこ リノベーション前後の様子



りんご並木周辺での新規出店数

	以前	H12～19	H20～28
新規出店数	9	9	16



【北海道富良野市】まちなか病院跡地での「フラノマルシェ」を核とした集客拡大と都市機能集積づくり（資料 A、資料 B）

◆事業の内容

- ・観光客や市民を中心市街地に取り込めるよう、民間出資により設立した「ふらのまちづくり(株)」が中心となり、官民が連携し、まちなかの病院跡地を活用した「フラノマルシェ」や商業、医療・福祉等の諸機能が集積する「ネーブルタウン」を整備。
- ・フラノマルシェ等で販売するフラノブランドの商品開発を併せて展開することにより、まちの収益力を向上。

◆実践のポイント

○「フラノマルシェ」の整備

- ・富良野市を訪れる観光客のうち、中心市街地を訪れる割合はわずかであった。また、まちなかの病院の郊外移転により、市民が中心市街地を訪れる機会が減少。
- ・このため、商工会議所、商業者、市民等の民間出資により設立した「ふらのまちづくり(株)」が中心となり、官民が連携し、中心市街地の賑わい再生に向け、地域の食の魅力を発信する「フラノマルシェ」を病院跡地に整備（H22年）。

○「ネーブルタウン」の整備

- ・「フラノマルシェ」に隣接する商店街を「フラノマルシェ 2」としてリニューアル。都市機能（商業、医療・福祉、居住）がコンパクトに集約された「ネーブルタウン」を整備（H27年）。

○フラノブランドの商品開発

- ・行政、観光協会、物産振興会、商店街等とともに「フラノブランド検討委員会」を組織し、周辺広域観光拠点との連携による情報発信力を活かしながら実施体制を構築。
- ・消費者ニーズ等の調査を行いつつ、地元食材を活用した食及び産業のブランド化を推進。
- ・「フラノマルシェ」等にも商品展開。

◆事業の成果

- ・富良野市への観光入込客数増加



4-1-7 回遊促進

【滋賀県守山市】自転車で琵琶湖一周「ビワイチ」のサイクルツーリズム拠点づくりによる集客拡大（資料B 守山市HP）

◆事業の内容

- ・観光客の誘致や市民の健康づくり等を推進するため、「自転車を軸とした観光振興」を総合戦略の柱に掲げ、行政や民間事業者が連携して、市域の拠点施設等の環境整備を行い、サイクルツーリズムを推進。
- ・「ビワイチ」による効果が琵琶湖周辺に限定されないよう、中心市街地の飲食店や観光施設にサイクリストを呼び込む環境づくりを行い、市域全体での活性化を図る。

◆事業の成功要因（実践のポイント）

○「ビワイチ」のサイクルツーリズム拠点づくり

- ・琵琶湖畔の宿泊施設内に、世界的自転車メーカーのジャイアントストアの店舗を誘致。自転車の販売・レンタルだけでなく、「ビワイチ」情報の発信等を行う拠点施設と位置付け（H28年）。
- ・新たなインバウンド需要を見越し、外資系ホテルの投資を呼び込んで、当該宿泊施設を全面改装予定（H29年）。

○中心市街地での観光拠点整備

- ・守山宿・町家「うの家」（H24.1開館）酒蔵を改修したレストラン・カフェ・イベントスペース等の複合施設。イベントスペースは収益イベントも利用可能で稼働率が高く、また、レストラン・カフェからの賃料収入により安定的に収益を確保。
- ・あまが池プラザ（H24.7開館）小学校・幼稚園との合築により整備した市民交流施設。施設1階にあるカフェの人気は高く、サイクリストの立ち寄り場所となるよう、施設入口にサイクルスタンドを設置。

○市民の自転車購入費への補助

- ・自転車利用の増加による健康増進と「自転車のまちづくり」の機運醸成を目的に、市民のスポーツ用自転車等の購入費を補助（H28.6～）。

○観光振興のためのサイクリストの支援

- ・京都駅から拠点施設に発着するサイクリストが自転車ごと乗車できるバスの運行、地元漁業組合との連携による漁船タクシーの運行（H27年）や市内タクシーと連携した「自転車搭載サービス」を開始（H28年）。
- ・市内のコンビニや宿泊・商業施設等17カ所に福祉作業所と共同で製作した木製サイクルラックを設置。

○守山市一周（モリイチ）スタンプラリー

- ・ビワイチの誘客・経済効果を波及させるため、中心市街地の「うの家」を含む、市内の名所や店舗を巡るスタンプラリーイベントを開催。
- ・守山市では、平成29年4月6日に琵琶湖岸第二なぎさ公園に「琵琶湖サイクリストの聖地碑」を設置するなど、ビワイチ起点のまちをキーワードに、守山市やビワイチの認知度向上と県内外からのサイクリストの誘客に向けて取組。
- ・守山市や滋賀県へのさらなる誘客を図るため、滋賀県の道を熟知し関西を拠点に活躍されるプロサイクリスト、三船雅彦氏に監修を依頼し、「ビワイチ推奨コースマップ」を制

作。

◆事業の成果

- ・観光拠点の利用者数増加



来客数	H24	H25	H26	H27
うの家				
咲蔵	8,344人	7,974人	9,844人	10,126人
忍ぶ庵カフェ	8,759人	7,279人	6,670人	6,770人
あまが池プラザ (H24. 7～)				
マダニス	8,222	11,622人	12,971人	14,628人

【新潟県十日町市、津南町】まち全体のアート化と回遊性の創出による賑わいづくり

◆事業の内容

- ・越後妻有地域（十日町市、津南町）全域において、地域を現代アート作品とするまちづくりを官民の連携により推進。「大地の芸術祭・越後妻有アートトリエンナーレ」会期中のみならず、日常的な賑わいを創出。
- ・十日町市の中心市街地に、芸術作品群のゲートとして位置づけられる美術館「キナーレ」を整備。ここを拠点としたまちなか回遊を促進するアート作品配置により、まちの賑わいづくりや商店街の売上向上に寄与。

◆実践のポイント

○大地の芸術祭・越後妻有アートトリエンナーレ

- ・3年に1回実施される世界最大級の国際芸術祭。直近の2015年は約51万人を動員（会期7/26～9/13）。他者の土地に作品を作るためには、地域とのコミュニケーションが欠かせないという点を意識し、住民を協働者として作品作りに巻き込んだことが成功につながっている。
- ・芸術祭による経済波及効果は約420億円（過去6回の合計）。

○地域全体をアート作品化

- ・地域全体を現代アートのミュージアム・作品として形成。芸術祭の開催のみならず、約200作品を常設展示し、意図的に配置することで、回遊性を創出。
- ・商店街や空き家等をアート作品の設置場所として活用するほか、100以上の空き家・廃校を作品として活用。

○官民が連携したアートによるまちづくり

- ・芸術祭やアートによるまちづくりの取組は、市町等から構成される実行委員会と「こへび隊」（全国からの有志、参加者延べ10,309人）や「NPO法人越後妻有里山協働機構」といった民間有志等との連携により実施。

○越後妻有里山現代美術館「キナーレ」の整備

- ・地域全体がミュージアム・作品である越後妻有地域のゲートとして、十日町の中心市街地に整備（H24）。
- ・通年で鑑賞者が訪れる地域とするため、大型企画展を開催するほか、「楽市楽座」のコンセプトのもと、交流・賑わい空間の創出のため、キナーレ回廊を利用したイベントを年間通じて開催。

○十日町中心市街地アートプロジェクトの開催

- ・中心市街地の施設や常設作品の間に、芸術祭会期中限定でさらに作品を敷き詰めるプロジェクト。作品を見終えた際、次の作品が視界に入り回遊を促進し、中心市街地での滞在時間拡大を図っている。

◆事業の成果



(商店街の路上アート)



【愛知県豊田市】まちの広場を活用した「あそべるとよたプロジェクト」による賑わい創出（資料 B、中心市街地活性化協議会支援センターまちかつ HP）

◆事業の内容

- ・名鉄豊田市駅周辺のまちなか広場を人の活動やくつろぎの場として開放し、市民・企業・行政が一体となってアイデアを出し合い、みんなの「やってみたい」ことを実現する「あそべるとよたプロジェクト」を実施。
- ・歩行者専用道路の一部を広場化し、日常的な休憩・飲食スペースの設置やイベント等の広場利用を可能とするなど、官民が管理する 9 箇所のまちなか広場に賑わいを創出し、まちの回遊性向上を図っている。

◆実践のポイント

○あそべるとよたプロジェクト

- ・都心のにぎわいや回遊性を向上させるため、「都心環境計画を」推進する中で、豊田市駅周辺を市民等の活動の場として位置付け、まちなか広場の整備検討。
- ・現存のまちなか広場を活用していく試行を進め、将来の広場の活用アイデアや担い手を発掘し、ハード整備に反映させていく。
- ・区長会、豊田市中心市街地活性化協議会、豊田市駅周辺の開発を手掛ける民間事業者等の官民の広場関係者で構成する「あそべるとよた推進協議会」を H28 年 4 月に設立。

○ペDESTリアンデッキ広場の開設・活用

- ・名鉄豊田市駅西口の市道（ペDESTリアンデッキ）において、一部を道路区域から除外し、広場とする協議を行い、イベント等の開催が可能な広場を H27 年 9 月に開設。
- ・来街者がくつろげる魅力的な空間づくりとその維持管理、一般使用者との調整等の広場貸し出し業務を行うとともに、物品販売や飲食等の自主事業による収入や広場貸し出しの使用料収入により、自立した運営体制を構築できる民間事業者を公募。
- ・H28 年度は、ビアガーデン等の飲食事業のほか、サッカー観戦や祭り等のイベント誘致も行われ、賑わいを創出。

○あそべるとよた DAYS の開催

- ・官・民が所有する 9 つの広場において、「あそべるとよた DAYS」期間中、あそべるとよた推進協議会が一括して受付を行い、広場使用料や広場使用者の責任や設置物の管理、衛生管理、広告表示等を記載した運用ルールを統一化。

◆取組の効果

- ・平成 27 年度の「あそべるとよた DAYS」の期間中の T-FACE への入店者数が、前年比 42.2% 大幅増。
- ・H28 年度は市民、大学生、民間企業、スポーツ団体等から 58 件の広場活用の応募があり、駅周辺の広場での賑わいを創出し、まちなかの回遊性向上につながった。
- ・平成 28 年 4～6 月のデッキの通行量が、前年比 5.6% 増。
- ・収益事業の創出、担い手（出店者）の発掘、公共空間の利用方法を内外にアピールできた。



従前のペDESTリアンデッキ

道路区域除外後広場として活用



【大分県別府市】温泉とアートを核としたまちづくりによる新たな観光客の獲得と移住促進（資料 B）

◆事業の内容

- ・ NPO 法人「BEPPU PROJECT」が中心となり、温泉とアートを核とした別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」等の文化事業や企業と連携した都市ブランドの情報発信により、若年層や女性等の新たな観光客の増加のみならず、クリエイターの移住・定住につなげている。さらに、遊休施設を再生した交流施設を中心に市街地に点在させ、回遊性を向上し、来街者の滞在時間延長による賑わいづくりを図っている。

◆事業の成功要因（実践のポイント）

○温泉とアートの融合による交流人口、移住者の増加

- ・ 従来は男性やシニア層の観光客が多かったため、交流人口の先細りが懸念されていた別府温泉街において、若年層・女性・個人客をターゲットに新たな魅力を発信するため、市民の有志により NPO 法人「BEPPU PROJECT」が発足し、アートを主軸にした地域活性化策をスタート（H17 年）。
- ・ 「BEPPU PROJECT」を中心に別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」を継続開催（H21 年から 3 年に 1 回開催）するなど、温泉とアートを絡めた文化事業により、交流人口の増加と滞在時間延長に貢献。
- ・ クリエーター専用アパートや短期滞在施設の運営を行い、移住・定住を促進。

○民間企業と連携した積極的な都市ブランドイメージの発信

- ・ 別府市と「BEPPU PROJECT」が（株）ビームスと連携。新宿のビームスジャパンに別府温泉の源泉を直送し期間限定の足湯を設置。首都圏の若年層からの SNS 等を通じた 2 次発信にも期待して、都市イメージを発信。

○まちなかに交流拠点施設を点在させ、回遊性を向上

- ・ 別府市中心市街地活性化協議会において、商店街の空き店舗等の遊休施設を市の補助も受けながらイベントスペース等にリノベーション。「BEPPU PROJECT」をはじめとする民間団体が活用することで、集客の拠点となっている。これらを「platform」と名付け、中心市街地に点在させることで、回遊性の向上に寄与。
- ・ 「混浴温泉世界」では、市内全域を舞台として作品展示や公演を行い、市内全体の賑わい向上に寄与。

◆事業の成果

- ・ 「混浴温泉世界」来場者の別府市滞在期間 2 泊以上の滞在者の割合増加（21 年 22%→H27 年 48%）
- ・ アート関係の移住者約 120 名（H21 年以降）



4-1-8 夜の回遊促進

【兵庫県豊岡市】城崎温泉（貿易研修センターHP）

◆事業の内容

- ・若手を中心にインバウンドの取組み
- ・国内外の観光客誘致と情報発信を担う「大交流課」の設置

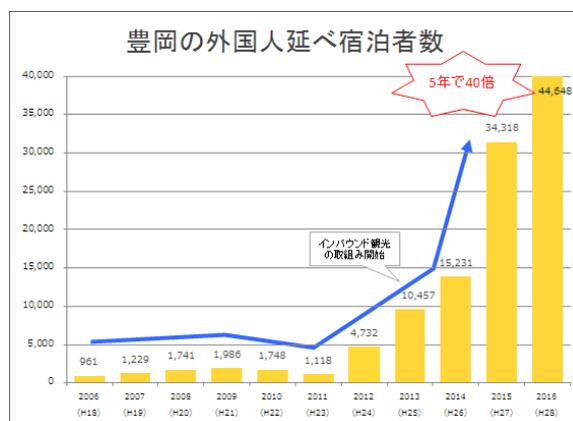
◆実践のポイント

○勘と経験の観光振興からデータ分析による観光戦略

- ・外湯めぐりを特徴とし、浴衣を着て出掛け、外湯に入ったり、そぞろ歩きをしてもらう。
- ・日本文化の体験を目的に来る国は?閑散期の春と秋に多く来ている国は?などいろいろな条件を探り、欧・米・豪を中心に売り込んだ。
- ・上記の国々から来日する観光客の予約は9割以上が個人手配ということも分かり、英語版のホームページを充実させ、ウェブ上から宿の予約もできるように対応。
- ・外湯めぐり、遊技場、食べ歩きのできる店やお土産屋も夜遅くまで営業しており、夜の散策が人気。

◆事業の成果

- ・外国人宿泊者数が5年で40倍も増加



【埼玉県秩父市】商店街が主体となったナイトバザールや交流拠点の整備等による賑わい再生（資料 B、みやのかわ商店街振興組合 HP）

◆事業の内容

- ・秩父駅前に位置するみやのかわ商店街では、約 30 年にわたりナイトバザールを継続開催するなど、リピーター・お得先づくりに取り組むことで、空き店舗ゼロを達成。
- ・手助けが必要な高齢者の日常生活の支援や地域住民の交流拠点の整備といった、高齢化社会のニーズにいち早く対応することで、地域貢献を図るとともに商店街の賑わい再生につなげている。

◆実践のポイント

○商店街主催ナイトバザール（夜市）の先駆け

- ・空き店舗が増加する商店街活性化のため、みやのかわ商店街振興組合により、消費者の生活行動が夜型に移行していることに着目し、「秩父の夜祭」にヒントを得て、昭和 62 年からナイトバザールを実施。
- ・19 時から 21 時までメイン通りを歩行者天国とし、福引き、出店等や各商店の独自サービスを行うほか、来街者を飽きさせない毎回異なるイベントを実施。
- ・現在は年 5 回土曜日に開催。平成 28 年までに 270 回超連続開催。

○ほっとすぽっと秩父館

- ・商店街の中心にあり、空き家状態となっていた旧商人宿を商店街振興組合が借り受け、平成 19 年に交流拠点施設としてリノベーション。
- ・商店街振興組合の事務局を置くとともに、高齢者を始めとした地域住民のたまり場、観光客の休憩所・情報発信の場として活用。
- ・地域の人が手芸品や陶芸品を展示販売する 70 を超えるレンタルボックス、地元野菜の販売コーナー等を設置。
- ・2 階の多目的スペースではイベントや宴会等に利用。無料 Wi-Fi スポットを設置するなど、若者を集める工夫を行っている。

◆事業の成果

- ・来街者の増加につながり、平成 3 年頃には空き店舗ゼロを達成。



【大阪府大阪市】OSAKA 光のルネサンス(資料 D 大阪市 HP 大阪・光の饗宴 2017HP)

◆事業の内容

○光が生み出す魅力ある大阪

- ・水都大阪のシンボル中之島で繰り広げるアートフェスティバル「OSAKA 光のルネサンス」をコアプログラム、大阪各所で地域活性に取り組む団体等が実施する光のプログラムを「エリアプログラム」として開催
- ・大阪の都市ブランド向上へ、大阪府、大阪市や経済関係団体等によって官民一体で都市経営を目指す

◆実践のポイント

- ・「大阪・光の饗宴」として2回目の実施となった平成26年度には、「OSAKA 光のルネサンス」、「御堂筋イルミネーション」、「OSAKA 光の饗宴バル2014」を開催するとともに、大阪市内で実施される民間による光プログラム(エリアプログラム)と連携し、大阪の魅力を一体的に発信する戦略的なプロモーションを推進。

◆事業の成果

- ・事業体制やプロモーションの強化を図ったことにより、「大阪・光の饗宴」全体の来場者数は、平成25年度の約517万人から約886万人と大幅に増加した。
- ・来場者

プログラム		平成28年度	平成29年度
コアプログラム	御堂筋イルミネーション	約460万人	約493万人
	OSAKA 光のルネサンス	約226万人	約273万人
エリアプログラム	大阪府内各所開催合計	約607万人	約602万人

・経済波及効果

平成28年度：約665億円、平成29年度：673億円



OSAKA光のルネサンス2014の様子



天満橋のライトアップ [写真提供:大阪市建設局]



阪神高速のライトアップ

4-1-9 地元魚と漁港活用（水産施設）

【青森県青森市】まち歩きを楽しむ体験型事業（資料 A）

◆事業の内容

- ・新幹線新青森駅開業による交流人口増加などの効果を最大限に活かすため、中心市街地への集客対策を積極的に講ずる必要があった。
- ・そこで、中心市街地の商店街や市場など多様な関係者との連携のもと、地域資源である「食」「歴史」「芸術」等を有効活用し、“じゃわめぐ（わくわくする）”青森ならではの新たな体感メニューを作り出すとともに、青森の魅力を有機的につなぐ仕組み作りや環境を整備することにより、観光客や市民の来街動機を喚起するイベント事業を実施した。

◆実践のポイント

- ・市内の古川市場内において、お好みの刺身等をのせて作るオリジナル丼「のっけ丼」等を開発・販売する体感型事業を実施し、観光客や市民の来街動機を喚起して、歩いて楽しいまちを体感させたこと。
- ・地域資源を活用した青森の魅力が新たに形成され、まち歩きを楽しむコンテンツが増えたこと。
- ・中心市街地の商店街や市場など多様な関係者との連携のもと、当該事業を実施したこと。
- ・新幹線延伸に伴い、増加すると予想される観光客・ビジネス客を対象に、JRと連携して「のっけ丼クーポン」を商品化したこと。

◆得られた成果

- ・中心市街地に新たな名所ができ、活気が出てきた。
- ・平成 22 年度ののっけ丼売上実績は 13200 杯であった。
- ・全国ネットのテレビでの取材等により現在も好調に推移している。
(取材数 雑誌 10 件、テレビ・ラジオ 18 件)



【滋賀県大津市】琵琶湖湖畔に商業拠点（資料 A）

◆事業の内容

- ・郊外に大規模小売店舗の進出が相次いでおり、商店街における歩行者通行量も減少傾向にあることから、中心市街地の商業集積としての機能維持に支障をきたしていた。
- ・また、中心市街地において、地域資源である琵琶湖を活用した商業拠点がなく、商業集積としての特色がなかった。
- ・そこで、郊外型大規模小売店舗とのすみ分けを行うため、ターゲットを絞り込んだブランディングにより、地域資源である琵琶湖を活用した大津らしい商業施設を整備した。

◆実践のポイント

- ・中心市街地活性化協議会の事務局を担っているまちづくり会社において、タウンマネージャーを設置し、商業施設運営等のノウハウを得るため、外部から出向社員を受け入れて、運営体制を強化したこと。
- ・中心市街地において実施するエコツーリズム事業などと連携することにより、中心市街地を回遊する動線を作ったこと。
- ・琵琶湖湖畔の郊外型大規模小売店舗にない魅力ある商業拠点をづくり、商店街等と連携した取組を実施することにより、商業集積として、郊外型大規模小売店舗とのすみ分けができたこと。

◆事業の成果

- ・本事業により、民間事業者がまちなかの活性化に向けた事業を実施するきっかけとなった。
- ・オープンから約6ヶ月で目標の年間7万人を達成し、平成21年度は累計12万人強の来客があった。
- ・琵琶湖観光客入込客数が、133万8千人（平成19年）から148万3千人（平成21年）に増加した。



4-2 水産施設に関する参考事例

※掲載許可を得ていない画像を含むため、内部資料扱いとする。

(1) 沼津魚市場INO

(1) 沼津魚市場INO（イーノ）（静岡県沼津市）～公民協働による「みなとまちづくり」の中で～

【沿革】

- ・沼津港市場、沼津港飲食店街、沼津市観光協会
- ・沼津港大型展望水門「びゅうお」（沼津市、2004年～）
- ・水産複合施設沼津魚市場INO（地方卸売市場沼津魚市場株式会社2007年～）
- ・沼津港、みなとオアシス登録（2007年11月）
- ・沼津みなと新鮮館（沼津仲買商協同組合、2009年～）
- ・沼津港深海魚水族館（佐政水産、2011年～）と港八十三番地（深海魚メニューあり）
- ・既存の県港湾振興ビジョン「沼津港みなとまちづくり推進計画（静岡県H27.12）」

【施設】

- ・セリ場や荷崩きなど衛生管理対策（HACCP）を取り入れた市場機能に、見学者通路、展望デッキ、食堂など観光要素を統合させた複合施設。
- ・鉄骨1部2階建、建築面積5,837㎡、延床面積7,697㎡、東西126m、南北46m
- 1階：水揚置別室、卸売場、低温室（大物売場・小口卸売場等）、貯水室、出荷プラットフォーム等
- 2階：INO魚食館（飲食3店）、展望デッキ、見学者通路、沼津魚市場株式会社事務所

沼津市基本指標	
交通	東名高速沼津IC、R1 JR東海道線・御殿場線
人口	195,633人（H27国調）
観光客	402万人（うち泊81万人、 観光施設321万人）
	沼津市観光戦略課
漁獲量	78,856 t（H27）
	農林漁業統計調査



【みなと全体の中で】

- ・沼津港大型展望水門「びゅうお」（施設）、沼津みなと新鮮館（仲買組合）、沼津港深海魚水族館・港八十三番地（民間企業）、沼津港飲食店街（地域）、アヲ処理施設（市）等様々な主体による事業を一体とする、まさに人と魚が集まる港。
- ・静岡県「沼津港みなとまちづくり推進計画」（平成27年12月）のタイトルは、「みんなで創り、みんなが集う『ガーデンポート』」。

【視察日程】※参与観察の段階です。

- ①びゅうお：港湾周辺の住民の命を津波から守る。名称は公募。大人100円。入場は10：00～20：00。ライトアップ景観も自慢。案内に観光ガイドボランティア（約70人登録）。入場者は少ない日は100人弱、多い日は1000人以上になるとのこと。
- ②魚市場INO：高度衛生型荷崩き所＋見学＋食事という構成は珍しい。見学5：00～16：00。地下水の提供は一般も利用可。作業中の方に一般客の出入は邪魔でないかどうかあったところ「こういうものと慣れた」とのこと。隣のアヲ処理施設は市内飲食店からも回収。毎日一定量の出入あり。稼働日は臭いも春気になるとのこと。
- ③沼津みなと新鮮館：以前より飲食店が少なくなった。お茶以外にJAが新たに参入。干物は「沼津産だけではないが鮮魚を手捌きして無添加。通販は真空パックになる。作りたては味が違う」とのこと。お茶も「通販は真空パック」との口上。ここに来て買うからこそ美味しさをPR。清水まぐろ販売施設より、鮮度勝負なのと、開放的で居心地よし。ロビーの水族水槽は美しい。
- ④深海魚水族館・港八十三番地：水族館は1600円と高価ながら人気。深海魚メニューあり。沼津パーガースタッフは「水族館ができてこの辺り一帯の集客に効果」。
- ⑤沼津港飲食店街：日曜日だったためかどこも賑わっている。③同様、新鮮・手づくりが身上。呼び込みも意気がある。活魚槽のある飲食店も多い。深海魚も。カキ小屋ほか、沼津らしさは異なる店もあるが、少ない。
- 全体：カップル、家族連れが多い。「宿泊観光地でないため、立寄の食事・買い物客が多い」とのこと（ガイドボラ）。飲み物が自動販売機であること、街中に座って食べられるような休憩スペースが少ないことが残念。ジオから深海魚への展開。遊覧船やクルーズ船の出入港風景を上から、陸から間近でみられることも魅力。安全と環境を大事にするイメージもプラスか。

画像：沼津市観光協会パンフレットより



(2)フィッシャーマンズワーフ白浜

(2) フィッシャーマンズワーフ白浜（和歌山県白浜町）～温泉リゾート地でフィッシャーマンが活躍する施設～

【沿革】

- ・長年の湯崎浜公園周辺の駐車場整備課題と漁業振興、地域活性化対策として検討開始。（昭和60年代～）
- ・白浜町長期総合計画として、議会承認（平成8年3月）
- ・事業基本計画書を作成（平成16年度）
- ・湯崎地区漁村再生交付金対象事業として採択（平成18年度）
- ・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金対象事業として採択（平成23年度）
- ・総事業費 約18億3千万円（国・県・市町の支出構成は確認中）
- ・事業工期 8年（平成27年7月竣工） ＊湯崎漁港内の3,711㎡を埋め立て

【施設】



白浜町の基本指標	
交通	南紀白浜空港 大阪・京都から特急2時間 紀勢自動車道南紀白浜IC
人口	21,533人（H27国調）
観光客	（白浜・椿温泉、H28） 332万人（うち泊194万人） 和歌山県観光動態調査
漁獲量	185t（H27） 農林漁業統計調査



画像：施設ホームページより

- ・機能 農林水産物の販売、飲食の提供、スキューバダイビングや漁船クルージングの発着基地として使用する体験実験室、季節限定の祭事（屋上でのビアガーデン、等）
- ・構造 鉄骨造り一部2階建て
- ・規模 延床面積1,497㎡（36×10m）1階：860㎡（農林水産物販売、海洋体験室等）2階：609㎡（食堂、レストラン等）、屋上：28.3㎡
- ・駐車場 普通車119台、中・大型車4台、自動二輪車、自転車は無料。
- ・開館 年中無休、開館時間 1階（7時～17時） 2階（7時～24時）
- ・海洋体験室使用料 1,000円
- ・指定管理者 白浜町富田支所（平成28年4月、和歌山県南漁業協同組合から移行）
- ・経費（指定管理者移行前） 施設使用料8万円/月、指定管理委託料288万円/年、光熱費172万円（町と折半）、下水道使用料132万円

【現在問い合わせ中の事項】

- ・建物所有者
- ・敷地面積、コーナー別床面積（農林水産物販売コーナー、海洋体験室、食堂、レストラン等）
- ・総事業経費18億3千万円の手当（国、県、町、漁協等）、うち施設整備費（建物建設費）、土地代
- ・開業以降の来場者数（レジ通過人数とか独自調査など）、集客圏
- ・従業員人数
- ・テナント数、テナント料（定額？ 売り上げに対する定率？）
- ・利用者数、売上金額（小売販売、飲食、その他）
- ・販売コーナーに並べる水産物の仕入れ先、価格、品揃えている魚種
- ・関連する（例：畜養、水産物加工、観光案内・宿紹介、漁業体験、白浜の漁業の歴史の紹介、魚の紹介、SNS、イベント広場、会議室等）
- ・将来的にフィッシャーマンズワーフ白浜に備えていきたい諸機能
- ・年間行事



「フィッシャーマンズ」について

- ・メンバー数利用者数人数（増減、現在）
- ・どのように集まったのか（青年部のメンバー？）
- ・漁獲物の買い取り方法（フィッシャーマンズのメンバーからの買い取り？）
- ・買い取りにおける値決め方法
- ・フィッシャーマンズ構成員の本業業務（漁労活動）時間との調整方法
- ・フィッシャーマンズへの支払い額



(3) 魚の駅生地(いくじ)

(3) 魚の駅生地(いくじ) (富山県黒部市) ~漁協による直売拠点~

【沿革】

- ・北洋漁業で栄えたが 200 カイリ時代で衰退、沿岸漁業中心に、YKK の拠点工場立地で雇用吸収。
 - ・平成 9 年、「黒部まちづくり協議会」発足、YKK 会長が港町の環境と食の魅力を活かした「まち歩き」を提案。
 - ・平成 10 年、漁協合併により育見基地を生産・流通の拠点に。富山県最東部の産地市場として生産者を支えたい。
 - ・平成 12 年、まち歩きの途中、漁協倉庫で 2 時間、漁協女性部製造の一夜干しを試験販売。
 - ・平成 14 年、「直売施設検討委員会」立ち上げ。漁協を中心に観光協会、地域組織、消費者、起業家で構成。起業家登用は「経営動」がほしかったから。黒部の魚の知名度が低い、魚商は大量安価志向で少量だと扱わない。漁協自ら売ることが決断。漁港区域の特例利用を県が受理。
 - ・平成 16 年、魚の駅「生地」オープン。
- コンセプトは「黒部産天然魚のみ扱う」「消費者に正直であれ」「漁師の獲った魚を売り切る」
- しかし、地元漁獲物を売り切るためには品揃えが大事。縁のある北海道の水産物も販売。
- 最近では富山湾を視野。

【施設】

- ・運営主体：黒部漁業協同組合
- ・所在地：黒部市生地中區(黒部漁港区域、県道 2 号に隣接)
北陸自動車道黒部 IC から車で 15 分、北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅からバスで約 15 分
- ・施設構成：とれたて館(物販)、できたて館(飲食、観光案内・情報コーナー)
イベント広場・オープンテラス等、駐車場 100 台(無料)
- ・営業日時：年中無休(元旦と臨時休業以外)物販 9:00~18:00(毎月第 3 日曜のみ 8:00~18:00)、飲食 11:00~15:00、17:00~22:00
- ・販売方法：店頭販売、テイクアウト販売、注文販売・オンラインショップ
一次加工は施設内、加工品は漁協女性部、市内業者、北海道の水産加工品
- ・スタッフ：30 人(パートタイマーを含む)
- ・催し物：管理の寿司ランチ、休日の朝市、体験乗校(魚のさばき方体験教室)、ピアガーデン等
- ・情報提供：ホームページ・facebook で黒部の魚、本日の水揚げ、魚のさばき方、黒部の観光等
- ・利用者数：平成 27 年(北陸新幹線開業年)は年間入込約 25 万人(平成 28 年は約 10%減)。30km 圏内が 7 割、中部圏、関東甲信越も少なくない。
- ・売上高：平成 27 年約 4 億円(平成 28 年は約 10%減) ※数年前には既に漁協収入の 8 割

黒部市基本指標	
交通	北陸新幹線黒部宇奈月駅 北陸自動車道
人口	40,991 人(H27 国調)
観光客	290 万人 宇奈月温泉 38 万人
宿泊	36 施設、1,004 室 観光は県統計 H28 値
漁獲量	6,736 t(H27) 農林漁業統計調査



黒部漁港(第 2 種漁港)全景。
富山県「とやまの漁港」(平成 26 年 8 月撮影)



魚の駅「生地」。物販棟と飲食棟が左右に振り分けられ港が見通せる。
写真は 2017 年 9 月 TBI 撮影、フロアガイドは施設ホームページより



【黒部・生地の観光集客拠点として】

- ・魚の駅「生地」は、観光案内拠点でもある。週末やイベント時は、運営、一般社団法人宇奈月温泉観光局スタッフか生地まち歩き観光ガイドが駐在し、「生地観光案内所」として、観光情報の提供やまち歩きガイドの受付を行っている。
- ・宇奈月温泉は、黒部の水揚げの供給先であるとともに、観光客の市内滞留においても相互に重要な連携先となっている。
- ・まち歩きは、市が商工観光課を窓口「越中富山清水の里 黒部観光ガイド(生地まち歩き)」として進めている事業であり、名水・歴史・食などをテーマとした観光スポットや体験プログラム、まち歩きコースの開発と情報発信を行い、ガイド(有料)、レンタサイクルの運営もしている。また、出前講座も実施し、地産地消の観光地づくりを進めている。
- ・生地のまち歩きは、地元産からの盛り上がりもみられる。生地は、漁協以西に名水ポイントが多く、漁協以東には上杉謙信の足跡や、生地鼻灯台、台場跡等の近代化遺産などの史跡が多い。魚の駅を富山氏とともに誕生させた前黒部漁協組合長松野氏は、北洋漁業会社を受け継ぐ経営者でもあり、生地の港町としての環境と歴史文化に光を当てるまち歩きを、将来のまちづくりに向けさらに発展させたいと考え、自ら旧施設をギャラリー「北洋の館」として提供している。

(4)「おさかなランド」と「蜃気楼」

【沿革】

- ・古くからの交易拠点、北洋漁業基地。浸食、防災、産業構造の変化とともに富山湾東方の総合拠点整備を展開。
- ・魚津港北地区は平成6～27年度にかけて整備。物流機能、防災拠点機能、中核的漁業基地機能、交流機能を強化。
- ・港湾利用者のメインは漁業。蜃気楼展望、世界で最も美しい湾のサイクリング、マラソン、ヨットイベントも。
- ・沿岸漁業の強化と効率的経営のため、平成14～16年にかけて漁協が水産物荷捌き施設「おさかなランド」を整備。
- ・追って魚価を中心に商工業者が「海の駅 蜃気楼」を整備。

魚津市基本指標	
交通	地方鉄道
	北陸自動車道魚津IC
人口	40,991人 (H27国調)
観光客	133万人
宿泊	19施設 1079室
	観光は県統計 H28 値
漁獲量	1,576t (H27)
	農林漁業統計調査



漁業基地形成の立役者
 魚津漁協専理理事須江博之氏
 スターウオズのシャツで自らPR
 2017年8月TRI撮影



【施設】

- ・魚市場と飲食・物販施設を分けて連立させた例。
- ・魚市場（荷捌き所）は高度衛生型荷捌き所の先駆け。

資料：富山県「地方港湾魚津港」パンフレット（平成27年6月）

<高度衛生型魚市場「魚津おさかなランド」>

- ・施設は、5,612.8㎡の密閉型施設で、作業内容別にゾーン区分している。施設内で使用する海水は、沖合150m、水深30mの良質海水を殺菌ろ過し、容器・機器の洗浄環境も充実させている。セリ場は高床式で、パレット使用で魚分類を直接床に置かない。
- ・単一魚種（一定規模の漁獲量のあるマアジ等）を単単位で効率的に取引するコーナーと、多品種を見定めて取引するコーナーに分けた。量取引コーナーは、施設の高齢化に対応した更新を行い、さらに高機能化する計画にある。
- ・市場で扱うのは全て海面漁業による天然資源である（内水面漁業者も受け入れている）。オープン当時は生産量が多く、セリを2回転させたが、現在は漁が減り朝5時から1回のみ。売れ残りは少ない。量単位の取引は加工材料にも回っていく。
- ・仲買人は72人（魚津市内、浜から山手、富山、立山方面も）、売主はシーズン40、夏は30程度である。
- ・セリ人は8名。箱詰・ラベル貼は生産者が行う。社名を入れたラベルは生産者側が用意。ラベルの色、生産・管理手法の表示等も各自が工夫。
- ・手数料は4～4.5%。ただし奨励金があり実質的には3%程度に抑えられている。
- ・海業活動として、セリの見学受入も実施している。見学者は、消毒コーナーを通過するなど、衛生管理の体験もすることになる。



魚津おさかなランド全景（施設ホームページより）
 右3枚は2017年8月TRI撮影



魚津おさかなランド（荷捌き施設）の内部。
 平成16年のHACCP対応施設は先進的。
 市場統合にあたり、19億円を投入して魚津港北地区に5,612.8㎡の施設を建設。海枯れの季節で、入荷は少なめ。



整然と並ぶ出荷物。見た目も美しい。出荷者がここまで整える。丁寧な扱いも漁協に反映される。



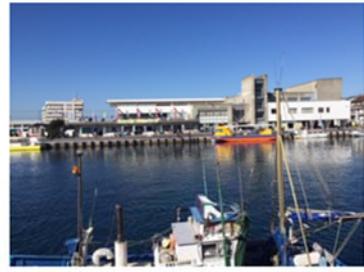
単一魚種は量単位で取引される。施設改善にあたり、漁協と生産者はマアジの鮮度保持システムを新たに検討する。

<海の駅「蜃気楼」>

飲食は寿司組合と組んだりしているが本業との兼ね合いもあり中途半端で魅力薄。イベントコーナーでの週末の浜焼きと朝市が集客を牽引。広い駐車場は屋外イベントの会場、市内イベント時の駐車場にも。岸壁に沿って蜃気楼展望ポイント。



(5) その他の国内事例



帆船のある風景。どうしても見とれる。
上は横浜港、帆船日本丸。
下は沼津港、個人のヨット。

松輪漁港の漁協レストラン。
海をみながら食事ができる。
シェフのこだわりがあふれるメニュー

三崎港、かつての海業施設は現在、
はまゆうという漁師のおかみさん食堂。
対岸に「うらり」

<神戸港>



神戸港2018年2月11日撮影
神戸ポートタワー
観光船船着き場には様々な視点から
眼を楽しませる演出が。



沼津港大型展望水門びゅうお

(6) 海外事例

【シアトル】

〈沿革〉（シアトル市ホームページより）

- ・シアトル市は米国西海岸有数の都市。人口約 60 万人。面積約 217 ㎢。
- ・シアトル市のダウンタウンに近いウォーターフロントはピュージェット湾に突き出す桟橋構造の突堤を特徴とする。その中でもセントラルウォーターフロントと呼ばれるピア 52 からピア 70 の間の突堤は、1911 年以降に公共埠頭、民間ドック、水産加工場、倉庫、水族館などを建設するために整備されたもので、そのうち埠頭や民間ドックなどに利用されていた突堤は、現在レストランや店舗などの商業施設、オフィス、フェリーターミナルなどに利用転換されている。



ウォーターフロント地域の鳥瞰。手前がベイ・ストリート・ターミナル 画像：シアトル市ホームページより

〈施設〉

- ・この利用転換は、シアトル港湾局が推進する土地利用戦略に基づいて、市内に湛在していた機能を計画的に年次の機能に誘導したものである。
- ・セントラルウォーターフロントには、年間 80 万人が来館するシアトル水族館（ピア 59）や公共市場（パイク・プレイスマーケット）などがあり、多くの観光客が訪れる場所となっている。
- ・ベイ・ストリート・ターミナル（ピア 66）は、ウォーターフロント沿いにある旅客ターミナル（11 エーカー）であり、ノルウェークルーズとオセアニアクルーズの拠拠地として利用されている。ダウンタウンから徒歩圏にあり、シアトル水族館やパイク・プレイスマーケットへもアクセスが良い。

イベントセンターやレストラン、多目的スペースを備え、シアトル・ウォーターフロントの代表的なゾーンになっている。1,700 台の駐車場を備え、駐車場とターミナル間に無料シャトルバスが走っている。

【モントレー】

- ・サンフランシスコから車で 6 時間、サンフランシスコから 2 時間の距離にある。カリフォルニア州のかつての州都。以前はイワシ漁などの漁業で栄えた街で、現在も海産物が美味しい土地として知られている。フィッシャーメンズワーフの名物はクラムチャウダー。
- ・モントレー湾に突き出した桟橋にフィッシャーメンズワーフがある。1870 年頃から水産加工場が集積し、当時の面影は今日でも楽しめる。
- ・桟橋は 1913 年にモントレー市の所有となり、今日に至っている。
- ・規模はサンフランシスコのフィッシャーメンズワーフよりは小規模であるが、シーフード料理で有名なレストランが集積している。



桟橋周辺の街並み



フィッシャーメンズワーフの遠景



モントレー湾の夕方



レストランから船溜まりを望む



モントレー湾のもう一つの観光拠点モントレー水族館



モントレー湾周辺ではヨット、ゴルフなどを楽しむ。

画像：建設紹介ページより。

【シアトル】

〔沿革〕（シアトル市ホームページより）

- ・シアトル市は米国西海岸有数の都市。人口約 60 万人。面積約 217 ㎞²。
- ・シアトル市のダウンタウンに近いウォーターフロントはビュージェット湾に突き出す桟橋構造の突堤を特徴とする。その中でもセントラルウォーターフロントと呼ばれるピア 52 からピア 70 の間の突堤は、1911 年以降に公共埠頭、民間ドック、水産加工場、倉庫、水族館などを建設するために整備されたもので、そのうち埠頭や民間ドックなどに利用されていた突堤は、現在レストランや店舗などの商業施設、オフィス、フェリーターミナルなどに利用転換されている。



ウォーターフロント地域の鳥瞰。手前がベイ・ストリート・ターミナル 画像：シアトル市ホームページより

〔施設〕

- ・この利用転換は、シアトル港当局が推進する土地利用戦略に基づいて、市内に混在していた機能を計画的に年々の機能に誘導したものである。
- ・セントラルウォーターフロントには、年間 80 万人が来館するシアトル水族館（ピア 59）や公共市場（パイク・プレイスマーケット）などがあり、多くの観光客が訪れる場所となっている。
- ・ベイ・ストリート・ターミナル（ピア 66）は、ウォーターフロント沿いにある旅客ターミナル（11 エーカー）であり、ノルウェークルーズとオセアニアクルーズの拠地として利用されている。ダウンタウンから徒歩圏にあり、シアトル水族館やパイク・プレイスマーケットへもアクセスが良い。

イベントセンターやレストラン、多目的スペースを備え、シアトル・ウォーターフロントの代表的なゾーンになっている。1,700 台の駐車場を備え、駐車場とターミナル間に無料シャトルバスが走っている。

【サンタカタリナ島】

- ・ロサンゼルスから 40 マイル。船で 1 時間強という近さもあり、気軽に行けるリゾート地として評価が高い。ロサンゼルスサンペドロ、ロングビーチ、ダナポイントから島の中心地アバロンにフェリーが出ている。
- ・ビーチ沿いの 5 ブロックを中心として、主だった観光スポットにはどこにでも徒歩で 10 分以内と、リゾート地としてはコンパクトである。
- ・新鮮なシーフードディナー、家族向けの豊富なマリンスポーツなどが楽しめる。有名人の避暑地、別荘もある。



ロサンゼルスから船で 1 時間強にあるリゾート島。



アバロンでの移動手段は徒歩、自転車、ゴルフカート。マリンスポーツと飲食スポットがコンパクトに立地。



海を眺めるんびりとした贅沢な時間を過ごす。



夜景の美しさを楽しむために宿泊する人も多い。

【アムステルダム】360°の展望 A'DAM LOOKOUT (アダム ルックアウト)

- ・オランダ、アムステルダムの新たなアイコン。旧シェル本社ビルをアミューズメント型展望タワーに。天国行きエレベーターで360°展望台に。天空のオーバーザエッジブランコに乗るとアドレナリンが噴出?! 無料デジタル写真撮影、アムスのハイテク技術展示、アートパノラマバー&レストランでは飲食も。毎日10:30~21:00。入場料12.50ユーロ。サンセット入場券は18:00から。カクテルセット券等あり。
- ・熱海ポートタワー(仮称)にも、アミューズメント要素を取り入れ、日ごろ皆が使い馴染んでいる施設が津波遊覧タワーとして機能するイメージ。
- ・隣の白い建築物は新たにオープンしたアムスシーというホテル。レストラン、会員制クラブ、イベントホールも。



画像: adamlookout.comより